

平成30年度研修開催一覧

【Aテーマ】支援目標・仮説の立て方 【Bテーマ】指導・保育記録のまとめ方

平成30年10月10日現在

| テーマ (裏面参照) | 研修に 含まれる内容 (裏面参照) | 開催校 | 講師名 | 開催日時 | 予約申請期間 | 開催場所 申込先メールアドレス | 定員 | 備考 |
|---------------|-------------------------|----------------|---------------------------------|---------------------------|-----------------------|---|-----|-----------------|
| A | 調整中 | 佐賀大学 | 松本 展明 (附属特別支 援学校 小学 部) | 平成30年8月23日(木) 13時-17時 | 平成30年 7月23日-8月3日 | 佐賀大学教育学部附属特別支援学校 sonoda_takaaki@kurume-u.ac.jp | 20名 | 筆記用具 動きやすい服装 |
| B | ⑧⑩ | 九州龍谷短期大学 | 鬼塚良太郎 | 平成30年8月18日(土) 13時-17時 | 平成30年 7月1日-8月10日 | 九州龍谷短期大学 5階 視聴覚教室 r.onitsuka@k-ryukoku.ac.jp | 50名 | |
| B | ⑧⑨⑪ | 佐賀女子短期大学 | 水田 茂久 菅原 航平 | 平成30年9月2日(日) 13時-17時 | 平成30年 8月1日-8月27日 | 佐賀女子短期大学121教室 k-sugahara@asahigakuen.ac.jp | 40名 | 筆記用具 |
| A | ①⑤⑥⑦ | 西九州大学 | 田中麻里 他 | 平成30年11月23日(金) 13時-17時 | 平成30年 10月1日-11月16日 | 西九州大学佐賀キャンパス tanaka-r@nisikyu-u.ac.jp | 50名 | 筆記用具 |
| B | ⑪⑫ | 西九州大学 短期大学部 | 川邊 浩史 津上 佳奈美 | 平成31年2月16日(土) 13時-17時 | 平成31年 1月1日-2月8日 | 西九州大学佐賀キャンパス kawabeh@nisikyu-u.ac.jp | 50名 | 筆記用具 |

【研修テーマ(裏面に記載)】

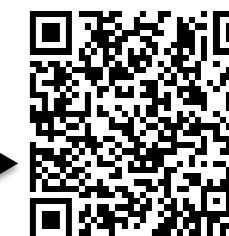
- ・ 研修には、AとBの二つのテーマがあります。
- ・ 各テーマにはさらに、研修に含まれる内容として①～⑫があり、開催校ごとに含まれる内容が異なります。

【参加予約方法】

- ① 卒後プログラムへの受講登録申請後、大学コンソーシアム佐賀事務局より受講許可証が届いた方のみ、上記研修に参加することが出来ます。
- ② 参加を希望する開催校の予約申請期間内に、開催校のメールアドレス宛に、参加予約申請メール(件名・氏名・連絡先・登録番号を明記)を送信してください。
- ③ 開催校からの参加許可通知により、参加予約の完了となります。(定員を超過している場合は、キャンセル待ちとして通知します。)
- ④ 参加許可通知が届いた方は、開催時間の15分前までに受付を済ませてください。

【注意事項】

- ・ 研修への参加回数に制限はありません。同テーマへの2回以上の参加も可能です。
- ・ 参加許可者以外の聴講は許可しますが、資格要件上の必要回数には算入されませんのでご注意ください。
- ・ 一覧の内容は予告なく変更される可能性があります。最新の情報は専用ホームページ(<http://www.saga-cu.jp/khs>)にてご確認ください。 →



【問合せ先】 大学コンソーシアム佐賀事務局 (0952-23-5145 佐賀女子短期大学内)

【Aテーマ】支援目標・仮説の立て方 【Bテーマ】指導・保育記録のまとめ方

* Aテーマ・Bテーマの他に研修に含まれる内容(①～⑫)

| | | |
|----------------------------|---|------------------------------|
| A テ ー マ 関 連 | ① | 具体的な支援方法・理論・現場での工夫について |
| | ② | 根拠(話し合い、記録、検査など)に基づいた支援目標の設定 |
| | ③ | 福祉制度や療育施設などの情報を知る |
| | ④ | 子どもの課題に合わせた教材研究 |
| | ⑤ | 保護者の心理状態の理解 |
| | ⑥ | 子どもの視点を中心にした課題理解 |
| | ⑦ | 子どもの状態に合わせた課題をスモールステップで設定する |
| B テ ー マ 関 連 | ⑧ | 保護者のニーズの理解と提供する情報の整理 |
| | ⑨ | 情報を整理して、次の目標を再検討する |
| | ⑩ | 保護者の心理状態の理解 |
| | ⑪ | 子どもの視点を中心にした課題理解 |
| | ⑫ | 子どもの状態に合わせた課題をスモールステップで設定する |